

資源のみち委員会報告書(素案)の構成

資料1

資源のみち委員会報告書(素案)目次

1. 下水道事業におけるエネルギー消費・環境負荷の現状
 - 1-1 下水道におけるエネルギー消費
 - 1-2 下水道における省エネルギー対策
 - 1-3 下水道からの環境負荷(下水汚泥の発生)
 - 1-4 下水道からの環境負荷(温室効果ガスの排出)
2. エネルギー・環境をめぐる社会状況の変化
 - 2-1 資源・エネルギー問題の深刻化
 - 2-2 地球環境問題の深刻化
3. 下水道の有する資源・エネルギーポテンシャル
 - 3-1 下水・下水処理水の有する未利用エネルギー等
 - 3-2 下水汚泥等バイオマスの資源・エネルギー利用
 - 3-3 施設空間を活用した自然エネルギーの導入
4. 資源のみち実現に向けた取り組み
 - 4-1 基本的考え方
 - 4-2 エネルギー自立の推進
 - 4-3 地域における資源・エネルギー循環の推進
 - 4-4 事業イメージ

下水道事業の現状

- エネルギー消費の現状(入口)
- 環境負荷の現状(出口)
 - ・下水汚泥(廃棄物減量化)
 - ・温室効果ガス(地球温暖化)

社会状況の変化

- エネルギー供給の不安定要因増大
- 地球環境問題の深刻化と地球温暖化対策の強化
- リン等有用資源の枯渇と長期的資源確保

下水道のポテンシャル

- 下水・下水処理水(熱エネルギー、位置エネルギー利用)
- 下水汚泥(エネルギー利用、マテリアル利用)
- 施設空間(管渠網、処理施設、用地の活用)

資源のみち実現に向けた取り組み

今回の検討事項

- エネルギー自立を目指す
- 地域における資源・エネルギー循環を目指す

具体的施策

今回の検討事項

エネルギー自立の推進

- 実態の把握・評価・公表
- エネルギー自立に向けた計画的な取り組み
- 継続的な取り組み状況の見直し

地域における資源・エネルギー循環の推進

- 実態の把握・評価・公表
- リーディングプロジェクトの実施
- 成果を踏まえた全国展開